



令和4年9月5日	
資料提供	
担当課	葛城修験日本遺産活用推進協議会(和歌山県観光振興課)
担当者	中村、鶴野
電話	073-441-2424

日本遺産「葛城修験」のPRをJR六十谷駅にて実施します！

令和2年6月に日本遺産の認定を受けた「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」について、地域の方々への認知拡大及び駅来訪者への観光PR等を目的として、JR六十谷駅に「葛城修験PRコーナー」を設置することになりましたのでお知らせいたします。

1. 設置期間 令和4年8月30日～令和5年3月31日
2. 設置場所 JR六十谷駅 改札前待合スペース (和歌山市六十谷351)
3. 設置内容
 - ・ポスタースタンドを設置し、PRポスターを貼付
 - ・ポスタースタンドにPRパンフレット及びPRチラシを配置 (別添参照)
4. 設置目的
下記目的を達成するために本事業を実施します



設置の様子



ポスター

- ①地域の方々に対する「葛城修験」の認知拡大(地域に密着した取組の推進)
- ②六十谷駅からの大福山登山者に対する葛城修験の観光PR
- ③登山アプリYAMAPと連携して実施している「葛城修験デジタルスタンプラリー企画」のPR

「葛城修験」とは

大阪と和歌山の府県境を東西に走る和泉山脈、大阪と奈良の府県境に南北に聳える金剛山地—この峰々一帯は「葛城」と呼ばれ、多くの神々が住まう山として人々に崇められてきました。今から1300年以上前、その山のふもとに生まれたのが、修験道の開祖とされている役行者(えんのぎょうじゃ)であり、役行者が最初に修行を積んだのがこの地だと言われています。

役行者は、この地に法華経の経典を28か所に埋めたと伝えられ、この28か所の経塚(経典を納めた場所)を「葛城二十八宿」といい、経塚や周辺の滝、寺社等をめぐる修行を「葛城修験」と言います。

日本最古の修験道「葛城修験」の世界へ足を踏み入れてみませんか？

和歌山からはじまり、大阪、奈良へと続く祈りの道、「葛城修験（かつらぎしゅげん）」。
修験道の開祖である「役行者（えんのぎょうじゃ）」が最初に修行を積んだのがこの地です。
「葛城修験」はその文化的価値が認められ、2020年に「葛城修験－里人とともに守り伝える
修験道はじまりの地」として日本遺産に認定されました。

そして六十谷駅から訪問可能な「大福山・雲山峰」も実は、葛城修験と非常に関係の深い場所。
役行者が法華経の経典を埋納したと言われている28か所の「経塚」の内、3番目の経塚がこの地
にあり、その他、役行者の母公の墓と言い伝えられる「墓の谷行者堂」や役行者を開基とする
霊場「本恵寺（直川観音）」もあります。

ぜひ日本遺産「葛城修験」の世界をこの地でご体感ください！

【モデルコース例】 歩行距離：約19km 歩行時間：約6時間30分



登山のお供に登山アプリ「YAMAP」を！
裏面に詳細掲載していますのでご確認ください！

電波が届かない山の中でも現在地がわかる登山地図GPSアプリ

▲ YAMAP を使って 葛城修験を歩こう

電波がなくても
現在地がひと目で
わかる

自分が選んだ
軌跡がわかる

事前に登山計画を
つくると
コースを表示

消費カロリーも
リアルタイム表示



YAMAP アプリの使い方

1



YAMAP アプリをダウンロード

2



地図をダウンロード

3



活動を開始する

4



活動日記を保存する



28の経路を巡ると、「YAMAP デジタルバッジ」が獲得できる企画を開催中。全8種のコンプリートを目指そう！詳しくはQRコードをご確認ください。

🔍 ヤマップ



<注意事項>

アプリのダウンロード、地図のダウンロードはインターネット環境のある場所で行ってください。現在地の確認、ルートなどの利用には事前に地図のダウンロードが必要です。アプリダウンロード後に山の名前で検索し、地図をダウンロードしてください。